

## 第1595回 例会 (令和2年12月18日)

### 本日のプログラム クリスマス夜間例会

前例会の記録 (第1594回 令和2年12月11日)

- ・会員数 39名
- ・出席者 37名 ・出席率 94・87% (出席免除者出席1名)
- ・欠席者 2名 恵谷 龍二・松田 重雄の諸君
- ・出席免除者 1名 光井 伸君
- 11月27日メーキャップ後の出席率 97・44%のまま補正なし
- ・ゲスト なし
- ・ビジター なし

・会長報告 本日は、国際ロータリー創立115年と293日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立33年と364日に当たります。

今年は、今日を含めてあと2回の例会を残すのみとなりました。いろいろな行事が中止となり、大変な半年となりましたが、ロータリーの奉仕の精神は揺るがないと信じ、引き続きクラブ運営を行いたいと思います。臨時理事会報告です。

①当クラブ創立35周年記念事業について、松田副会長より、実行委員長に山本雅夫会員を、副実行委員長には福嶋啓祐会員の報告をうけ承認致しました。②R3年1～3月分の例会プログラムを承認しました。③笠岡 RC より新年合同例会取りやめの旨連絡ありましたので12日(火)の例会を15日(金)通常例会として開催すること承認致しました。④職場例会について2月19日に萩原工業株式会社様にて開催する事承認しました。⑤変更後のクリスマス例会予算書を承認⑥剣道大会については、コロナウイルス感染症の拡大防止を講じて開催する事とし、計画書及び予算書を承認しました。⑥歳末助け合い募金は例年通りニコニコ会計より2万円の協力をする事承認⑦事務所年末年始休暇は、12月26日(土)～1月4日(月)までを承認しました。

・幹事報告 岩崎ガバナーエレクト事務所より、12月13日開催予定の次期クラブロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー資料冊子を4冊ご送付頂きました。

笠岡国際交流協会より、会報誌：えくすちえんじを頂いております。

・委員会報告 親睦活動委員会より、クリスマス例会参加者には、生カキ、菓子ギフト、シクラメンの花を、欠席者にも、今年は家族会中止とした為、お詫びを込めて菓子ギフトとシクラメンの花をプレゼントさせていただきます。

・配布 週報 ロータリーの友

・食事 カツカレー(財団ランチ)

### ◎スマイル

三宅達夫君 半年間ありがとうございました。残り半年もよろしくお祈りします。

棕梨孝章・佐藤林平君 小川会員の卓話が楽しみです。

岡原 稔君 13日日曜日、地区財団補助金管理セミナーへ行って参ります。

工藤一郎君 皆さん横断歩道を渡りましょう。

江原公平君 次回例会時の副SAAを池田周二会員にお願いしました。

小川隆則君 卓話をさせていただきます。

大嶋元義君 歩行者の横断中の事故が多いということで、取締りが強化されています。気を付けましょう。

山本雅夫君 次年度創立35周年の実行委員長を拝命しました。ご協力をお願いします。

福嶋啓祐君 遅刻しました。

赤瀬 健君 小川さんごめんなさい。早退します。

新井善久君 少し早く帰ります

スマイル 12,000円

### ●プログラム 天皇家～そのルーツと歴史～ その4 小川 隆則会員

○第121代 孝明天皇

在位 1846.3.10～1867.1.30

時代 江戸時代(幕末)

元号 弘化、嘉永、安政、万延、文久、元治、慶応

将軍 第12代 徳川家慶、第13代 家定、第14代 家茂、第15代 慶喜

孝明天皇が在位していた江戸時代末期(幕末)の1863年、下関戦争(馬関戦争)が起きました。長州藩は幕府の攘夷決行命令を受けて、馬関海峡(関門海峡)を封鎖し、外国船の航行に対してこれを砲撃しました。その翌年、海峡封鎖に対する報復としてイギリス、フランス、オランダ、アメリカの四国連合艦隊が下関を砲撃し、長州軍は惨敗しました。

戦後交渉の任務にあたった高杉晋作は、300万ドルの賠償金支払い要求についてはこれを受諾し、幕府の命による攻撃なので幕府に支払わせることで合意を取り付けました。一方、彦島租借の要求に対しては、「古事記」を引用し、日本は神から授かった国なので一遍の土地も貸さない、譲らないと断固拒否して要求を退け、日本が中国の二の舞になることを阻止しました。

○古事記から読み解く「神の寿命、人の寿命」

神には寿命がありません。けれども、伊耶那美神が火之迦具土神を生んだ時、御陰(女性器)に深刻な火傷を負い、結局、これが原因で伊耶那美神は死んでしまいました。つまり、特別な事故があれば神も死ぬということです。逆の言い方をすると、特別な事故がない限り、神の命は永遠に続くということです。

人間はどうでしょうか?人間も初めは寿命がなかったものと推定されます。けれども、黄泉の国に行った伊耶那美神と現世に残った伊邪那岐神の離別によって、伊耶那美神は、「あなたの国の人々を一日に千人絞め殺しましょう!」と言い、それに対して伊邪那岐神は、「私は一日に千五百の産屋を建てよう」と言って永遠に決別することになりました。この時から人間は寿命を持つようになりました。つまり、人間は伊耶那美神の呪いによって寿命を持つようになったわけです。

次週以降のプログラム&行事予定

12/25(金) 第4例会 取りやめ

☆事務所年末年始休暇 12/26～1/4☆

1/1(金) 第1例会 祝日の為休会

1/8(金) 第2例会 地区財団セミナー報告・年男の抱負(5名)